

令和4年度  
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	10	05	01	104380	先人顕彰推進事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興	
	施策	02	先人の顕彰			
目的	郷土の先人の業績を広く紹介するため、市内施設で企画展及びマンガ制作を行う。					
対象	市民、観光客					
意図	市民が地域の歴史や文化に触れることにより、郷土に誇りと愛着を持つようになる。観光客は、花巻の先人を理解することにより再訪への足がかりとなる。					
事業概要	<p>○共同企画展 2,698千円 先人顕彰施設5館（萬鉄五郎記念美術館、花巻新渡戸記念館、博物館、総合文化財センター、高村光太郎記念館）にて花巻ゆかりの先人について同時期に企画展を行う。</p> <p>○先人顕彰ギャラリー展 0千円（支出なし） 市内4会場（大迫、石鳥谷、東和の各市立図書館および文化会館）で開催</p> <p>○偉人マンガ制作【新規】 3,283千円 花巻の先人に関するマンガを制作し、市内小中学生にふるさとへの愛着や誇りを育む。ふるさとへの興味関心の向上やキャリア教育へつなげる。</p>					
市民参画の有無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	R03	R04	R05
1	共同企画展の開催館数	館	計画	5.00	5.00	
			実績	3.00	5.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	R03	R04	R05
1	共同企画展入場者数	人	目標	5,000.00	5,000.00	
			実績	2,007.00	1,998.00	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり	○	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標を下回ったが、展示内容に関するアンケートの満足度は高く、事業推進が図られた。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市内各施設の企画展の開催時期を合わせることで、来館者へのサービスを図るもので公共関与は妥当である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	知られていない先人は多く、市民へ広く紹介する機会を設ける。企画展の内容について連携することにより、市民をはじめ、より多くの来館者が訪問しやすくなる。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	職員の直営で行えるものは対応するなど、最低限のコストを考慮している。簡易な事務については、非常勤職員で対応しているが専門知識を要する業務が多いのでこれ以上の削減はできない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	○ どちらも削減余地がない	入館料を徴収し、受益者負担としており公平である。
	受益と負担の適正化余地	
	受益機会の見直し余地がある	
総合評価	○ 適正である	今年度の振り返り 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて入場者数は減少したものの、複数館を巡るスタンプラリーの達成者も多くあり、アンケートの満足度も高かった。
	令和5年度は共同企画展開催館が3館（例年5館）であるが、チラシデザインや告知方法等の工夫をし、より広い年齢層に訴求する事業としたい。	
	次年度に向けて	

令和4年度  
事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	05	06	104500	宮沢賢治普及・啓発事業費
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興
	施策	02	先人の顕彰		
目的	宮沢賢治の人と作品に対する理解を深めるとともに、研究者・愛好者の交流を深めるため、宮沢賢治に関する資料を収集・保存し、情報を提供するとともに、セミナーや研究発表会、シンポジウム、研修会、企画展等を開催する。				
対象	市民、観光客及び全国の賢治研究者・愛好者等				
意図	宮沢賢治に関する情報の収集・提供や研究者・愛好者の交流により、賢治作品や研究成果にふれ、賢治の人と作品に対する理解を深め、賢治の普及に大きく寄与する。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○宮沢賢治学会イーハトーブセンター事業補助 11,122千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮沢賢治に関する資料・情報の収集及び提供</li> <li>・定期大会、研究発表会・シンポジウム等の開催</li> <li>・研修会・講座等の開催</li> <li>・会員間の情報交流、研究活動への協力</li> <li>・宮沢賢治賞・イーハトーブ賞の選考、学会功労賞の選考・決定</li> </ul> </li> <li>○企画展の開催（宮沢賢治学会イーハトーブセンター委託） 1,100千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主、応募企画展</li> </ul> </li> </ul>				
市民参画の有無	対象外				
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	○補助・助成
活動指標		単位	区分	R03	R04
1	企画展開催回数	回	計画	4.00	4.00
			実績	4.00	4.00
2	賢治セミナー開催回数	回	計画	3.00	5.00
			実績	4.00	7.00
3			計画		
			実績		
成果指標		単位	区分	R03	R04
1	入館者数	人	目標	26,000.00	26,000.00
			実績	13,715.00	24,270.00
2	セミナー出席者数	人	目標	500.00	500.00
			実績	229.00	288.00
3			目標		
			実績		
成果指標の達成度			目標値より高い		概ね目標値どおり
				○	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）	
<p>新型コロナウイルス感染症の影響があったものの入館者、セミナー等の参加者は前年度に比べ若干ではあるが増えてきており、セミナー等の開催を対面、オンライン併用の方法により開催していることが要因に挙げられると分析している。</p>	
目的妥当性	公共関与の妥当性
	○ 妥当である
	見直し余地がある
有効性	○ 妥当でない
	成果の向上余地
	○ 向上余地がある
効率性	向上余地がない
	事業費・人件費の削減余地
	事業費の削減余地がある
公平性	人件費の削減余地がある
	○ どちらも削減余地がない
	受益と負担の適正化余地
総合評価	受益機会の見直し余地がある
	費用負担の見直し余地がある
	○ 適正である
今年度の振り返り	<p>宮沢賢治に関する図書・資料・論文等の情報が収集・保存・整理され、この情報を提供することにより宮沢賢治の情報拠点として重要な役割が果たされた。セミナー等の開催については、対面、オンラインを併用し、参加者数等については若干ではあるが増えている、加えて、若年層の参加もわずかながら増加傾向にある。</p>
次年度に向けて	<p>宮沢賢治に関する図書・資料・論文等の情報が収集・保存・整理され、この情報を提供することにより宮沢賢治の情報拠点として重要な役割を果たしていく。また、企画展やセミナー、研究会等を開催することにより調査研究を含め、学ぶ場を提供することにより、市民を始め全国から多くの方々から来館もしくはオンラインから参加され、賢治を学びながら、交流を深める。</p>

令和4年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	10	05	07	104530	新渡戸記念館企画展示事業費		
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興		
	施策	02	先人の顕彰				
目的	市民が地域の歴史や文化に触れ、郷土への愛着や誇りを醸成するため、花巻の開発に貢献した新渡戸氏の顕彰と新渡戸家に関わりのあった先人達の業績などを紹介する。						
対象	一般市民及び県内外の観光客						
意図	江戸時代以降の花巻発展に貢献した新渡戸家や新渡戸稲造を顕彰・紹介し、花巻の歴史の一端を市民に触れてもらうとともに、観光客にも本市をPRする機会とする。						
事業概要	<p>○特別展の開催 1,081千円</p> <p>特別展Ⅰ「新渡戸稲造の著書Ⅰ」6月11日～9月25日 新渡戸稲造生誕160年 新渡戸稲造著書を紹介</p> <p>特別展Ⅱ「八重樫豊澤～新渡戸傳の書画の師匠～」11月1日～11月30日 新渡戸傳の書画の師匠であった八重樫豊澤の作品を紹介</p> <p>特別展Ⅲ「収蔵資料展～雛人形展～」令和5年2月11日～4月3日 新渡戸家や市内旧家に伝わるひな人形や花巻人形等を紹介</p> <p>○新渡戸教室の開催（教育普及事業） 150千円 花巻新渡戸記念館移動研修の開催 新渡戸家の業績を紹介する「新渡戸教室」の開催 新渡戸フェスティバルや郷土芸能公演の開催</p>						
市民参画の有無							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標			単位	区分	R03	R04	R05
1	行事開催数	回	計画	10.00	10.00		
			実績	8.00	9.00		
2			計画				
			実績				
3			計画				
			実績				
成果指標			単位	区分	R03	R04	R05
1	入館者数	人	目標	20,000.00	11,000.00		
			実績	5,054.00	7,274.00		
2	生涯学習に利用した市内小中学校数の割合	%	目標	14.00	14.00		
			実績	14.00	7.14		
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		○ 目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）	
○入館者数の推移	<p>H28年度 14,707人（41人/日） H29年度 13,118人（37人/日） H30年度 12,815人（36人/日） R1年度 11,559人（32人/日） R2年度 5,356人（15人/日） R3年度 5,054人（16人/日） R4年度 7,274人（20人/日）</p> <p>前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、入館者の減少（コロナ前の半数位）が続いた。 ○生涯学習に利用した市内小中学校も2校（前年4校、前々年3校）、市外修学旅行の利用も1校（前年7校、前々年8校）と少なかった。</p>
目的妥当性	公共関与の妥当性
	<input type="radio"/> 妥当である 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない
有効性	成果の向上余地
	<input type="radio"/> 向上余地がある 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない
	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である
	<input type="radio"/> 適正である
総合評価	今年度の振り返り
	<p>市民に地域の歴史や文化を紹介するため、新田開発などで活躍した新渡戸氏や新渡戸氏ゆかりの先人の企画展示を開催し、郷土の歴史や先人の業績に対する理解を深めた。また、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら開館、新渡戸フェスティバル等の企画を実施し、低調ではあるものの令和2・3年度よりも入館者数に回復の兆しがあった。</p>
次年度に向けて	<p>新型コロナウイルス感染症の規制がなくなることから、特別展及び新渡戸教室等の教育普及事業の周知・広報の充実に努め、市民に限らず広く学習の場を設けていく。</p>

令和4年度  
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	05	11	104640	高村光太郎記念館企画展示事業費
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興
	施策	02	先人の顕彰		
目的	高村光太郎をより多くの方々に紹介するために、企画展等を開催する。				
対象	市民、観光客				
意図	市民が地域の歴史や文化に触れることにより、郷土に誇りと愛着を持つようになる。 観光客は、花巻の先人を理解することにより再訪への足がかりとなる。				
事業概要	○高村光太郎に関する企画展 2回 842千円 一般財団法人花巻高村光太郎記念会へ委託 550千円 花巻市直営企画 292千円 ○高村光太郎記念館講座 2回 80千円				
市民参画の有無					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	後援・協賛
				補助・助成	○委託
活動指標			単位	区分	R03
1	企画展示の回数	回	計画	2.00	2.00
			実績	2.00	2.00
2			計画		
			実績		
3			計画		
			実績		
成果指標			単位	区分	R03
1	入館者数	人	目標	15,000.00	15,000.00
			実績	4,148.00	8,787.00
2			目標		
			実績		
3			目標		
			実績		
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
企画展については、例年県内外の来館者から人気があるが、今年度は2回開催することができた。また、企画展に関する講座は、WEBで展示解説動画を配信した。また、高村光太郎にちなんだおやつ作り教室（親子対象）を開催し、花巻ゆかりの先人である光太郎について理解を深めることができた。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	先人の偉業を通じ市民へ郷土への誇りを醸成することは市として妥当である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	展示内容の充実を図ることにより、入館者が増加すると判断した。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	職員の直営で行えるものは対応するなど、最低限のコストを考慮している。簡易な事務については、行政事務員で対応しているが専門知識を要する業務が多いのでこれ以上の削減はできない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	○ どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	入館料を徴収し、受益者負担としており公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
費用負担の見直し余地がある		
総合評価	○ 適正である	
	今年度の振り返り	芸術高村光太郎も愛した郷土に目を向け、故郷の良さを再発見し愛着をもつように努めた。特に、親子対象の講座を開催することをとおして若い世代にむけ高村光太郎について理解を深める機会が提供できた。
次年度に向けて	高村光太郎の偉業を市民や観光客へ紹介する機会を提供する。	

令和4年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	02	01	16	124620	賢治のまちづくり推進事業費		
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興		
	施策	02	先人の顕彰				
目的	宮沢賢治及び賢治のまち花巻に魅力を感じる市民及び来訪者を増やすため、賢治の作品や考え方に触れる機会を提供する。						
対象	市民、観光客						
意図	賢治や賢治の生誕地である花巻の魅力を感じている						
事業概要	賢治のまちづくり推進事業 ○ 賢治を学ぶ場づくり 9,955千円 宮沢賢治賞・イーハトーブ賞、賢治セミナー、「賢治の世界」セミナー、「賢治の世界」ワークショップ、宮沢賢治記念館特別展 ○ 賢治イベントの開催 57,196千円 宮沢賢治生誕祭全国俳句大会、全国高校生童話大賞、賢治フェスティバル、宮沢賢治創造芸術公演、宮沢賢治没後90年事業 ○ 賢治の香りあふれるまちの整備 4,332千円 賢治アートストリート事業、イギリス海岸リーフレット、胡四王の森環境整備事業 ○ 賢治情報の発信 2,349千円 賢治カレンダー						
市民参画の有無	対象外						
市民協働の形態	共催	<input type="checkbox"/>	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	R03	R04	R05	
1	セミナー等開催数	回	計画	37.00	37.00		
			実績	32.00	33.00		
2			計画				
			実績				
3			計画				
			実績				
成果指標		単位	区分	R03	R04	R05	
1	日常生活の中で宮沢賢治の作品や考え方に触れる機会があると思う市民の割合	%	目標	62.00	63.00		
			実績	45.50	51.30		
2			目標				
			実績				
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度			目標値より高い		概ね目標値どおり	<input type="checkbox"/>	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
宮沢賢治に触れる機会があると思う市民の割合は、令和元年度以前は概ね60%前後で推移してきたものの、感染症の拡大によるイベント開催の中止等の影響で、令和2年度に48.9%、令和3年度に45.5%と減少したが、令和4年度は、51.3%に増加した。 感染症による影響でイベント関連の開催が制限されていたが、感染症が収束に向かう過程で、賢治のイベントが再開したり、再開したイベントを通じて賢治に触れる機会が増えたことなど、イベントが通常開催に戻りつつあることが要因と思われる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	賢治について学び、賢治に触れる機会や場を提供することによって、より多くの市民や市外の方に賢治に興味を持ってもらうことにつながると考えられることから、市が積極的にイベント等の開催や環境整備、情報発信を行う必要があると考えられる。
	<input type="checkbox"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
	<input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	イベントの開催や環境整備、情報発信を行うことで賢治の作品や考え方に触れる機会が増大し、成果が向上すると考えられる。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	国、県等の補助を最大限に活用するとともにイベント等の開催では関連団体等の協働による実行委員会形式をとっており、削減余地はない。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	<input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内・市外ともに対象を広く設定しているため、受益機会と費用負担については公平と考えられる。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
	<input type="checkbox"/> 適正である	
総合評価	今年度の振り返り	賢治のまち花巻において、市民や観光客が賢治に触れられる機会を創出するため、感染症の影響を考慮しながら賢治イベントを開催した。また、賢治を学ぶ場づくりを進めるとともに、市内外へ向けて賢治情報を発信することで「賢治さんの香りあふれるまち」への醸成が図られた。
	次年度に向けて	令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同様の5類に移行したことから、感染症が拡大する以前の水準まで賢治イベントの開催に努めるとし、併せて賢治を学ぶ場の提供や賢治情報の発信を継続する。また、複数の団体が宮沢賢治童話村を会場にしたイベントを企画していることから、このような団体との協働によって成果指標における実績値の増加を図る。